

(4) 職員の初任給の状況(平成26年4月1日現在)

酒田市			国家公務員		
区分	初任給		区分	初任給	
一般行政職	大学卒	172,200円	行政職(一)	総合職(大卒)	181,200円
	高校卒	140,100円		一般職(大卒)	172,200円
技能労務職	高校卒	137,200円		行政職(二)	一般職(高卒)
					137,200円

(5) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額(平成26年4月1日現在)

区分	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年	
一般行政職	大学卒	263,300円	302,022円	345,300円
	高校卒	218,400円	251,200円	303,988円

◆経験年数は、卒業後直ちに採用され引き続き勤務している場合は、採用後の年数となります。

(6) 一般行政職の級別職員数の状況(平成26年4月1日現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	計
標準的な職務内容	主事・技師	主事・技師	係長・主任	主査・係長	課長補佐・主査	課長・主幹	部長・支所長	
職員数	60人	44人	178人	159人	72人	43人	16人	572人
構成比	10.5%	7.7%	31.1%	27.8%	12.6%	7.5%	2.8%	100%
平成25年4月1日構成比	8.0%	8.2%	33.3%	27.5%	12.1%	8.2%	2.7%	100%

◆級区分は、酒田市一般職の職員の給与に関する条例の区分によるものです。◆標準的な職務内容とはそれぞれの級に該当する代表的な職名です。◆再任用職員は除きます。

(7) 職員手当の状況

ア) 期末手当・勤勉手当の支給割合(平成26年4月1日現在)

区分	酒田市			国家公務員		
	6月期	12月期	計	6月期	12月期	計
期末手当	1.20月分	1.40月分	2.60月分	1.225月分	1.375月分	2.60月分
勤勉手当	0.60月分	0.60月分	1.20月分	0.675月分	0.675月分	1.35月分
計	1.80月分	2.00月分	3.80月分	1.90月分	2.05月分	3.95月分

イ) 退職手当の状況(平成26年4月1日現在)

区分	酒田市		国家公務員		
	自己都合	勤奨・定年	自己都合	勤奨・定年	
平均支給額	勤続20年	20.4450月分	25.55625月分	21.6200月分	27.0250月分
	勤続25年	29.1450月分	34.5825月分	30.8200月分	36.5700月分
	勤続35年	41.3250月分	49.5900月分	43.7000月分	52.4400月分
	最高限度額	49.5900月分	49.5900月分	52.4400月分	52.4400月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 (定年前10年以内で勤続25年以上の職員について定年前の残年数1年につき2%割増)		定年前早期退職特例措置 (定年前15年以内で勤続20年以上の職員について定年前の残年数1年につき3%割増)		
退職時の特別昇給	なし		なし		
一人当たり平均支給額	22,439千円				

◆一人当たり平均支給額は、平成25年度に退職した一般職員に支給された平均額です。

ウ) 時間外勤務手当の状況(普通会計決算)

区分	支給総額	職員一人当たり支給年額
平成25年度	145,010千円	189千円
平成24年度	144,142千円	192千円

エ) 特殊勤務手当の状況(平成26年4月1日現在)

手当の種類(手当数)	16
職員全体に占める手当支給職員の割合	9.6%
支給実績(平成25年度決算)	4,449千円
職員一人当たりの平均支給年額(平成25年度決算)	5,785円

◆支給実績および職員一人当たりの平均支給年額は、普通会計決算によるものです。

(8) 特別職の報酬などの状況(平成26年4月1日現在)

区分	給料月額
市長	940,000円
副市長	750,000円
水道事業管理者	595,000円
監査委員	545,000円
教育長	630,000円

区分	議員報酬月額
議長	535,000円
副議長	480,000円
議員	450,000円

区分	期末手当支給割合	
	6月期	12月期
市長、副市長 水道事業管理者 監査委員、教育長	1.375月分	1.475月分
	12月期	1.475月分
	計	2.85月分
議長 副議長 議員	1.375月分	1.475月分
	6月期	1.475月分
	計	2.85月分

3 休暇などの取得の状況

(1) 年次有給休暇(一人当たりの平均取得日数)

平成25年	平成24年
10.9日	10.9日

◆市長部局の非現業職員の平均取得日数です。

(2) 育児休業など(人)

区分	年度	育児休業	部分休業	育児短時間勤務
男性職員	平成25年度	0	1	0
	平成24年度	1	1	0
女性職員	平成25年度	16	9	0
	平成24年度	17	7	0
合計	平成25年度	16	10	0
	平成24年度	18	8	0

4 職員の分限および懲戒の処分の状況(平成25年度発令分)

(1) 分限処分者数(人)

降任	免職	休職
-	-	6

降任/現在の職位よりも下位の職位に下げる処分
免職/職員としての身分を失わせる処分(退職手当支給)
休職/一定期間職務に従事させない処分(一部給与支給)

(2) 懲戒処分者数(人)

戒告	減給	停職	免職
5	-	-	-

戒告/職員の義務違反の責任を確認するとともに、矯正を求め将来を戒める処分
減給/一定期間、現在の給料の額から一定割合を減額する処分
停職/一定期間職務に従事させない処分(無給)
免職/職員としての身分を失わせる処分(退職手当不支給)

5 職員の主な研修の状況(平成25年度)

基本研修(階層別研修)/新規採用職員研修、一般研修、役付(主任~課長級)職員研修など▶特別研修/ゲートキーパー研修、交通安全研修、パソコン研修、e-ラーニングによる情報セキュリティ研修など▶派遣研修/自治大学校、東北自治研修所、市町村職員中央研修所、山形県市町村職員研修所、庄内広域行政組合、東北公益文科大学大学院修学研修など

人事行政の運営等の状況の公表について 市職員の給与・定員管理等の概要をお知らせします

◆お問い合わせ／市総務課職員係 ☎26-5702

本市人事行政の運営状況について、その透明性を高め、また公正性の一層の確保を図るため、職員の任用や給与、勤務条件、厚生福利などの概要を「酒田市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づきお知らせします。詳しい内容は市ホームページでもご覧になれます。

1 職員の任免および職員数に関する状況

(1) 平成25年度採用者数(人)

区分	競争試験による採用	選考による採用	再任用による採用	計	(参考) 平成24年度
行政	16	3	—	19	13
土木	1	—	—	1	4
建築	1	—	—	1	1
保健師	1	—	—	1	0
管理栄養士	1	—	—	1	0
医師	—	1	—	1	2
看護師	1	—	—	1	6
指導主事	—	3	—	3	3
船員(任期付)	—	—	—	0	3
合計	21	7	0	28	32

◆選考による採用とは、国との人事交流などによるものです。
◆再任用とは、定年退職者などを再び採用することです。

(2) 平成25年度実施の職員採用競争試験の状況

区分	受験者数(人)	合格者数(人)	倍率	(参考) 平成24年度の倍率
行政(大学卒業程度)	165	16	10.3	12.2
土木(大学卒業程度)	15	1	15.0	—
機械(大学卒業程度)	8	1	8.0	—
電気(大学卒業程度)	5	1	5.0	7.0
建築(大学卒業程度)	2	1	2.0	8.0
土木(社会人経験)	6	3	2.0	—
行政(高校卒業程度)	22	4	5.5	4.7
土木(高校卒業程度)	3	2	1.5	2.5
管理栄養士	—	—	—	24.0
保健師	—	—	—	8.0
看護師	6	3	2.0	2.0
作業療法士	0	0	—	—
理学療法士	1	0	—	—
保育士	39	2	19.5	—
任期付保育士	27	10	2.7	—
合計	299	44	—	—

◆試験区分は、年度により異なります。

(3) 部門別職員数の状況

部門	区分	職員数の推移(人)						増減理由
		平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成25年度と平成26年度の比較	
一般行政部門	議会	10	10	10	10	10	0	
	総務	213	206	207	221	211	7	都市デザイン課新設など
	税務	57	56	56	62	65	1	
	労働	3	3	3	3	3	0	
	農林水産	53	53	54	53	54	0	
	商工	30	32	29	28	28	△2	
	土木	78	78	79	74	77	0	
	民生	153	144	150	156	161	9	任期付保育士配置など
	衛生	49	45	46	45	48	4	飛鳥診療所医師採用など
	小計	646	627	634	652	657	19	
特別行政部門	教育	120	122	124	153	161	△2	学校統合
	病院	48	50	52	56	66	△2	
公営企業等 会計部門	水道	39	50	53	55	56	△11	事務の民間移管など
	下水道	31	29	30	29	31	2	
	交通	9	9	9	8	10	0	
	その他	41	41	41	37	40	0	
	小計	168	179	185	185	203	△11	
合計	934	928	943	990	1,021	6		

◆職員数は、地方公務員定員管理調査に基づくもので各年度4月1日現在の人数です(教育長を含む)。

2 給与の状況

(1) 人件費の状況(平成25年度普通会計決算)

住民基本台帳人口 (平成26年3月31日)	歳出額(A)	実質収支	人件費(B)	人件費率(B/A)	平成24年度の人件費率
108,705人	55,221,706千円	1,078,671千円	6,380,826千円	11.6%	13.9%

◆人件費には、一般職と特別職の給与、報酬のほか、共済費、退職手当などを含みます。

(2) 職員給与費の状況(平成26年度普通会計予算)

職員数(A)	給与費				一人当たり給与(B/A)	退職手当	共済費	計
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計(B)				
777人	3,083,786千円	390,041千円	1,066,061千円	4,539,888千円	5,843千円	657,029千円	1,025,934千円	6,222,851千円

◆平成26年度当初予算に計上された一般職分の額です。職員手当には退職手当を含みません。

(3) 職員の平均給料月額および平均年齢の状況(平成26年4月1日現在)

区分	酒田市		国家公務員	
	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	328,551円	43.6歳	335,000円	43.5歳
	343,405円		408,472円	
技能労務職	343,391円	50.9歳	287,992円	50.1歳
	353,982円		326,611円	

◆一般行政職とは、医療職、教育職などのほかの給料表の適用者などを除いたもので、各数値については平成26年地方公務員給与実態調査の区分に基づくものです。

◆国家公務員については、酒田市の一般行政職と同職種である国の行政職俸給表(一)の適用者、酒田市の技能労務職と同職種である国の行政職俸給表(二)の適用者の平均値です(平成26年国家公務員給与実態調査より)。

◆平均給与月額は、給料月額に扶養手当、管理職手当、地域手当、住居手当、初任給調整手当、特地勤務手当、単身赴任手当、寒冷地手当の諸手当を加えて算出しています。